



いちかわみさと

# 議会だより

第57号

2019年11月1日発行



三珠地区（上野）敬老会

令和元年  
9月定例会

● 条例の制定・改正	P-2
● 令和元年度一般会計補正予算	P-3
● 平成30年度決算認定	P-4~5
● 常任委員会報告・町道認定視察	P-6~7
● 組合議会報告	P-8
● 一般質問6議員 町政を問う	P-9~14
● 討論・審議結果	P-15
● みんなのページ	P-16

令和元年度

# 一般会計補正予算

(万円単位未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 7769万円  
総額 93億5739万円

収入の内訳

町税	180万円
地方交付税	1億8698万円
負担金及び分担金更正	△1886万円
国庫支出金	261万円
繰入金更正	△4億5221万円
繰越金	3億6434万円
県支出金	231万円
諸収入(県社協助成金)	6万円
町債更正	△933万円

## 支出のおもな内訳

### 総務費

若者定住促進住宅補助金追加	1400万円
町内定住を希望する40歳以下の若者世帯を対象に、最大100万円を補助する町の制度。年度当初予算は1600万円。	

移住支援金交付事業補助金	160万円
地域の重要な中小企業等への就業や社会的起業をする移住者を支援する国の制度。県とのマッチング支援事業。(最大100万円、単身の場合最大60万円)	

町「人口ビジョン」改訂・「第2次総合戦略」(令和2年度から5年間対象)策定調査研究支援事業委託費	83万円
--	------

ふるさと納税返礼品費等追加	4546万円
ふるさと納税ポータルサイト委託料追加(申込手続きのインターネット窓口)	1075万円

プレミアム付商品券事業費追加(10月消費税増税対策事業)	220万円
------------------------------	-------

### 土木費

川浦団地空家解体工事費	80万円
-------------	------

### 民生費

社会福祉協議会補助金更正	△314万円
--------------	--------

国民健康保険特別会計繰出金追加	25万円
-----------------	------

### 教育費

青洲公園(市川大門青洲橋西)藤棚更新事業費	287万円
-----------------------	-------

新施設(ifセンター)開館記念行事費	67万円
--------------------	------

三珠中学校修繕費	62万円
----------	------

市川東小学校修繕費	30万円
-----------	------

大塚桃林橋公会堂屋根修繕補助金	30万円
-----------------	------

- \*繰入金 … 会計の収支不足を補うために、他の会計や積立金(基金)から充てられる資金。
- \*繰出金 … おもに一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する資金。
- \*更正 … 実績などにより経費が少額で済んだ場合、予算を減額すること。金額は△で表示。

## 条例の制定3件、条例の改正3件

### 条例の制定3件

●空家等対策の推進に関する条例の制定

空家等の倒壊などを未然に防止し、町民の安全で安心な暮らしの実現、良好な生活環境の保全の推進を図るため、空家等の適正管理に関し必要な事項を定める。

●空家等対策協議会設置に関する条例の制定

空家等対策推進計画の策定などを協議するための協議会の設置について、必要な事項を定める。

●森林環境譲与税基金条例の制定

本町における森林の整備や、その促進を図ることを目的とした基金を設けるにあたり、必要な事項を定める。

令和元年第3回(9月)定例会は、9月2日から13日までの12日間(予備日・休会日含む)にわたり開催されました。今定例会では、報告3件、条例の制定3件、条例の改正3件、令和元年度一般会計特別会計補正予算7件、平成30年度決算認定2件、その他3件が提出され、いずれも原案どおり可決、認定されました。また、請願2件が提出され採択となりました。

### 条例の改正3件

●職員給与条例の改正

地方公務員法が改正され、<sup>\*</sup>成年被後見人、<sup>\*</sup>成年被保佐人であることを、職員としての欠格事項とする規定が削られたことに伴い、本条例について引用している部分を削除する。

<sup>\*</sup>成年被後見人  
<sup>\*</sup>成年被保佐人

精神上の障害により、判断能力を欠く(被後見人)、判断能力が不十分である(被保佐人)として家庭裁判所の審判を受けた人。財産管理や財産上の重要な法律行為は、法定の代理人である後見人、保佐人が与えられた権限によって行う。



●印鑑条例の改正

住民基本台帳法施行令等が改正され、住民基本台帳に旧氏が記録されることに伴い、印鑑登録にも旧氏が使用できるようにするための改正。令和元年11月5日から実施。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の改正

幼稚園・保育園等に通う3歳以上の子どもの利用者負担が一律無償となる。3歳未満児についてはこれまでの生活保護世帯に加え、町民税非課税世帯についても無償となる。また、一定の段階に属する多子世帯の第2子以降の子どもについて、これまで3歳の誕生日までとしていた無償の期間が、3歳の誕生日の属する年度末までに拡大された。令和元年10月1日から実施。





# 決算 認定

歳入総額 172億7971万円  
歳出総額 164億6712万円  
差引額 8億1259万円

## 一般会計の貯金と借金

年度末	基金の残高	町債の残高
平成28年度	45億7868万円	115億8409万円
平成29年度	47億7284万円	118億3907万円
平成30年度	43億2605万円	132億3442万円

## 町民1人あたりに使われたお金

科目	主な用途	金額(円)
民生費	老人福祉、障害者福祉、子育て支援など	186,618
教育費	学校教育環境の整備、生涯学習施設の整備など	112,550
総務費	交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など	93,432
衛生費	健康予防、生活環境、衛生など	88,392
土木費	道路の新設改修、河川の整備、町営住宅の管理など	71,997
公債費	借りたお金を返すための費用	70,514
農林水産業費	農業や林業の振興と整備など	25,073
消防費	消防施設整備など	11,731
商工費	商工業振興など	10,696
議会費	議会運営費など	4,630
災害復旧費ほか	災害復旧費・諸支出金	13,869
<b>町民1人あたり額計 (15,810人 3月末現在)</b>		<b>689,497</b>

## 平成30年度決算に基づく 早期健全化指標

	平成30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	14.54%
連結実質赤字比率	—	19.54%
実質公債費比率	9.1% (前年比+1.3%)	25.0%
将来負担比率	128.2% (前年比+18.1%)	350.0%

\*将来赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字が生じないため「-」で表記  
\*実質公債費比率とは、公債費(借金返済費)を含む返済金合計が、どれだけ財政に負担をかけているかを表す指標  
\*将来負担比率とは、町が将来支払う可能性がある負担合計が一般会計に占める比率

## 会計別歳入・歳出額一覧表

会計名	歳入総額	歳出総額
<b>一般会計</b>	114億4754万円	109億94万円
国民健康保険【事業勘定】	18億9728万円	18億7181万円
国民健康保険【直営診療施設勘定】	6771万円	6330万円
介護保険	22億871万円	20億2623万円
訪問看護ステーション西八代	3438万円	3342万円
簡易水道事業	2億6312万円	2億5178万円
公共下水道事業	10億559万円	9億7825万円
農業集落排水事業	3283万円	3200万円
温泉事業	5128万円	5040万円
歌舞伎文化公園管理	3195万円	2951万円
後期高齢者医療	2億1965万円	2億1939万円
財産区など6会計	1968万円	1009万円
小計	58億3218万円	55億6618万円
<b>合計</b>	<b>172億7971万円</b>	<b>164億6712万円</b>

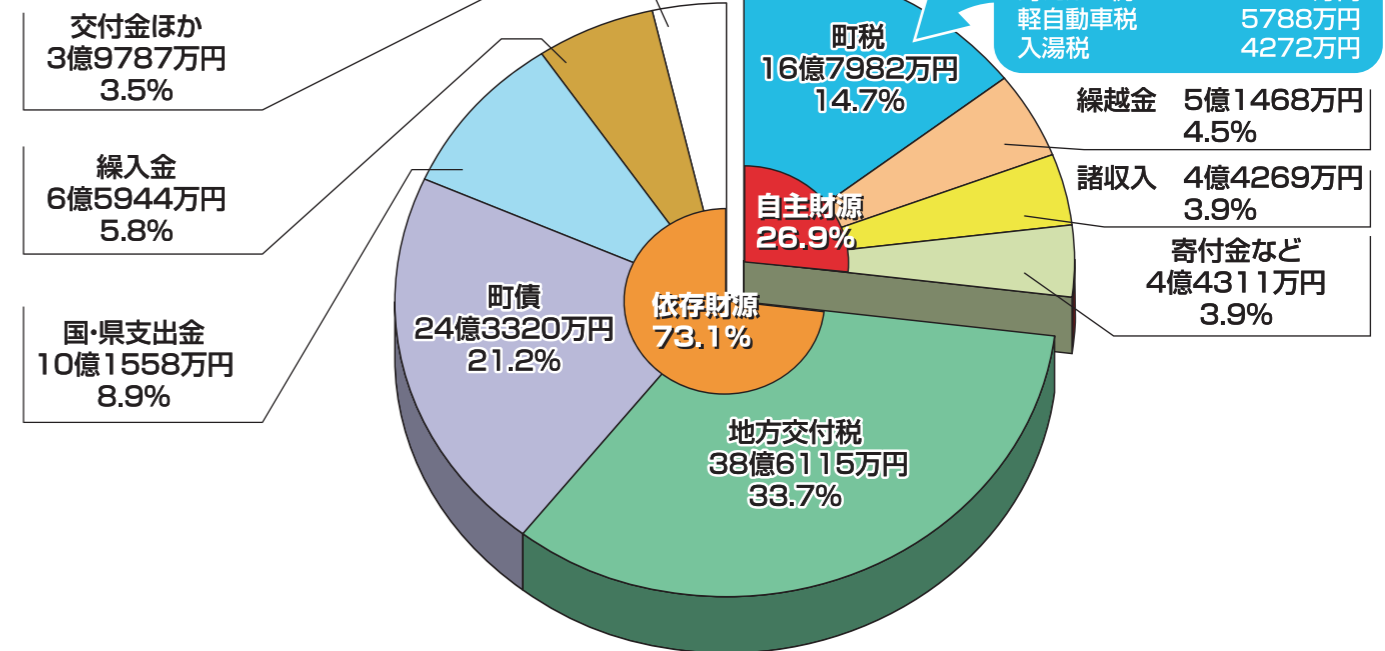
## 平成30年度決算の主な内容

一般会計の歳出決算は109億94万円、特別会計の歳出決算は55億6618万円。一般会計・特別会計の合計は164億6712万円となりました。歳入決算は172億7971万円で、8億1259万円歳出決算を上回りました。

自主財源である町税は、対前年比で3390万円程度減少しました。  
また、新施設建設に伴う合併特例債の発行などにより、地方債残高は前年比約14億円増加しましたが、財政健全化判断比率は基準値を大きく下回る水準を維持しています。

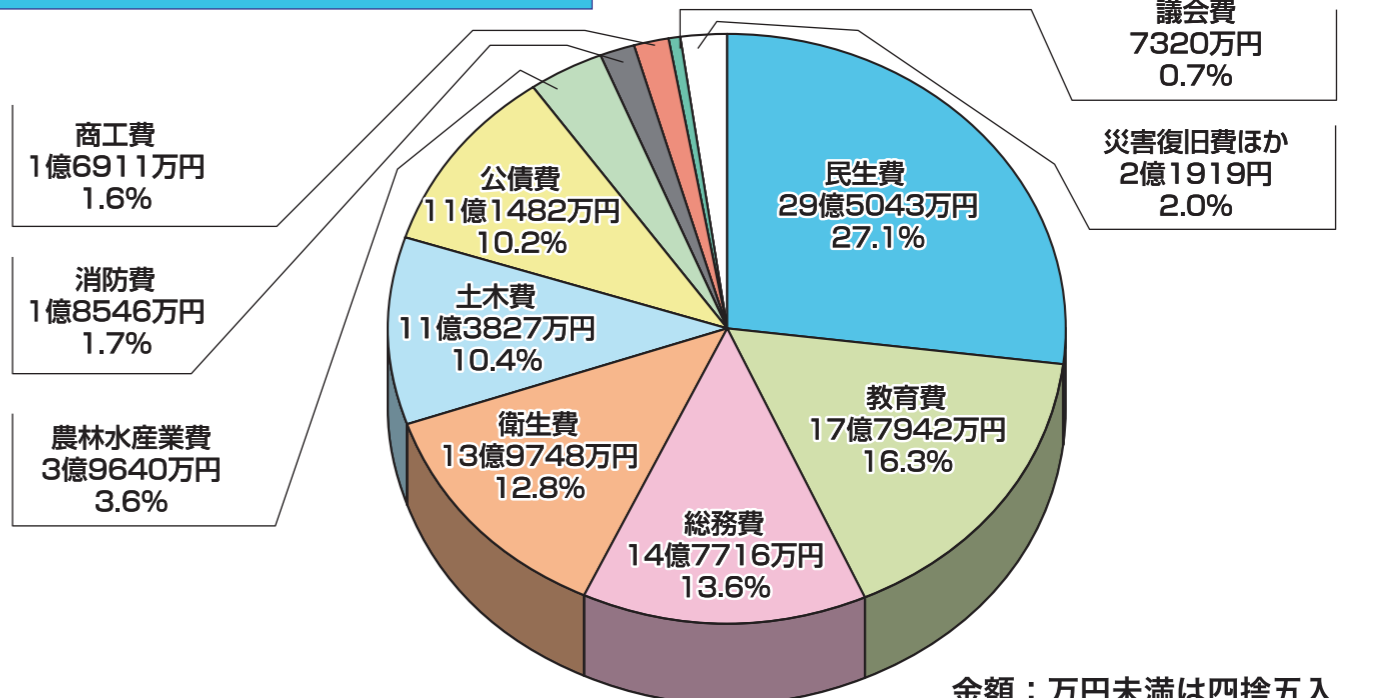
## 一般会計

### 歳入 114億4754万円



町税内訳	
固定資産税	7億7967万円
町民税	7億1417万円
町たばこ税	8518万円
軽自動車税	5788万円
入湯税	4272万円

### 歳出 109億94万円



金額：万円未満は四捨五入



# 常任委員会 報告

質疑の一部を  
要旨のみ掲載します

## 総務厚生常任委員会

開催日  
9/3

### 名誉町民

**問** 小澤征爾氏のこれまでの本町訪問は。

**一瀬政策秘書課長** 募参りなどで来町。10月が父開作氏の没後50年にあたり来訪予定と聞いている。

**問** 来町時に町から称号を贈る機会があれば町のプラスでは。

**町長** ご本人の健康状態も考慮しつつ、機会を設けるべく検討している。



町名誉町民条例第3条の規定による市川三郷町名誉町民の称号を贈ることについて  
(町名誉町民条例第3条の規定による議決)

氏名 小澤 征爾氏

東京都世田谷区  
昭和10年9月1日生

### 提案理由

本町にゆかりが深く、指揮者、音楽監督として、海外においても活躍され、「世界のオザワ」と称されるほど世界が認めた功績を持つ小澤征爾氏に、名誉町民の称号を贈ることについて、議会の議決を経る必要があるため

### ふるさと納税

**問** 寄付金受け入れ実績と今年度見込みは。

**政策秘書課長** 平成30年度実績は、受入額1億5200万円となり、前年比1億円、3.14倍と大幅な伸びとなった。また、返礼品等の発送事業経費は6800万円であった。

今年度の受入見込額を、年度当初の1億5000万円から、2億6500万円に増額修正した。9月現在の受入れ実績は約1万件、1億5000万円である。



### 印鑑条例の改正

**問** 登録してある旧姓の実印はそのまま使えるのか。

**武田町民課長** 本人からの届出によって、住民票に旧姓を記載することにより、旧姓での印鑑登録、証明書の交付が可能となる。

### つむぎの湯・いきいきセンター費

**問** 歳入の減少理由は。

**望月つむぎの湯所長** 前年に比べ入館者が減り、入湯料収入が減ったため。

中部横断道の六郷IC以南の開通後、入館者は増えている。

## 教育土木常任委員会

開催日  
9/6

### 空き家等対策

**問** 空き家の解体に伴う多額の費用や、更地にした場合の固定資産税の増額等に対する対応は。

**町長** 先進例を調査し、所有者の負担軽減につながる施策があれば取り入れたい。

**問** 空き家の解体費と、土地代が同じような場合に土地を町で買い上げれば採算がとれ、解体しやすくなる。  
そのような土地を町が活用する考えは。

**町長** 双方にとって良いことであり、そのような対応をとった例もある。  
今後しっかり研究し、取り組んでいきたい。

### 安全安心対策費

**問** 防犯灯設置工事費の設置件数は。

**塩沢防災課長** 防犯灯6カ所を整備した。

### 地籍調査費

**問** 地籍調査の進捗状況は。

**丹沢農林課長** 町全体では65%強の調査を完了している。

### 商工費

**問** 碑林公園にWiFiの設置を望む声があるが。

**林商工観光課長** 現在、町有施設への設置が進められている。今後、観光施設へのWiFi設置も検討していく。

### 簡易水道特別会計 歳入歳出決算

**問** 配水管等の老朽化に対する課題への取り組みは。

**望月生活環境課長** 現在は基礎調査を行っているが、改修計画、財政計画等を盛り込んだ「水道ビジョン」に基づき計画的に進めていく。

### 町道路線の認定

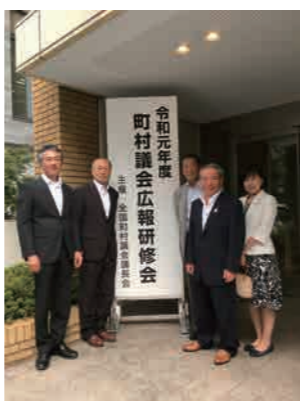
宅地分譲に伴い、公衆用道路として町に寄付採納の申し出があった路線について、教育土木常任委員会の現地視察のうえ、議決された。  
○町屋0号線(三珠上野)



表門神社東

### \*寄付採納

民間業者が町道認定の基準に則り排水路、上下水道管、舗装を敷設する。幅員40m以上。延長により回転広場を設けるなど種々規制が有り、議会が認定し町道となる。



全国町村議会広報研修会参加  
(東京：9月24日)



# 組合議会の報告

(万円未満は四捨五入)

## 峡南広域行政組合

第1回臨時会 7月3日

提出された議案は、平成30年度一般会計繰越明許費計算書の報告のほか、条例改正1件、売買契約の締結1件であり、いずれも原案どおり可決されました。

審議された案件は、業務システムの新元号への対応で、改修費400万円を追加するもの。

条例改正は、不正競争防止法等の一部を改正するもの。

売買契約の締結は、4820万円(税抜き)で水槽付消防ポンプ自動車を購入するもの。

(報告 村松武人)



## 峡南医療センター企業団

第2回定例会 8月28日

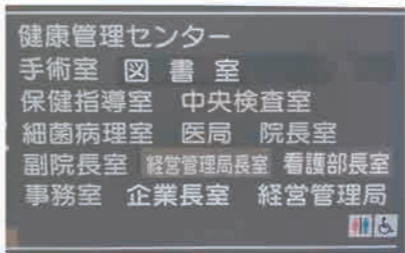
提出案件は、議案1件、認定1件の計2件で、いずれも原案どおり可決認定されました。

議案は、料金徴収条例の一部改正で、消費税の税率改定に伴い改正するもの。

認定では、平成30年度会計決算認定は以下のとおりです。

収益決算額は、47億1221万円  
費用決算額は、45億7046万円  
当年度純利益は、1億4175万円

(報告 松野清貴)



## 山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回臨時会 7月11日

専決処分の承認1件で、原案どおり承認されました。

承認(第1号)は、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するものでありました。

また、副広域連合長、監査委員及び公平委員会委員の選任に同意を求めることについて、原案どおり同意されました。

(報告 笠井雄一)



## 一般質問

(顔写真は年1回の掲載です。)

### 三郡橋東の県道拡幅工事の取組み状況は

一瀬 正 議員

― 拡幅事業化に向け、自転車歩行者道設置を県に要望している ―

#### 〈質問項目〉

1. 三郡橋から中央通り迄の県道拡幅工事の進捗状況と完了予定は
2. 電車通学する高校生の新図書館及び市川大門児童館の活用について
3. 町発注工事や物品購入の現状と町内業者優先の必要性について
4. 若者たちが出会い、交流できる機会づくりを
5. 平塩5号線周辺の活用など移住者を増やす政策展開を
6. 新設高校「青洲」に関する「青洲文庫」と「渡辺青洲」氏の町内外へのPR活動を
7. 高齢者世帯への粗大ごみ回収サービスの拡充を

#### 〈質疑概要〉

**問** 三郡橋から中央通り迄の県道拡幅工事の進捗状況と完了予定は。

**町長** 町主催の意見交換会やアンケート調査を行った。町の案として「南側への自転車歩行者道の設置及び北側への自転車通行帯設置」を県に要望した。11月予定の県での事業承認を期待する。

**問** 電車通学する高校生が待ち時間を有効活用できる様、新図書館や市川本町駅近くの児童館の環境整備を。

**町長** 新図書館の閉館を2時間延長して午後7時とし、利便性を高める。館内に学習室を設置し、高校生などの利用を想定している。市川大門児童館は、閉館

時間の延長、高校生の電車待ち時間の利用や異年齢の子どもたちとの交流の場の提供など、幅広い活用方法を検討している。

**問** 町発注工事や物品購入はどのような過程で入札されるのか。

**町長** 予定価格が130万円以上の工事、80万円以上の物品購入は、「一般競争入札」(資格があれば誰でも参加可)または「指名競争入札」(指名された業者のみ参加可)の入札が原則である。

「概ね予定価格1億円以上」の工事等は原則「一般競争入札」である。「指名競争入札」の対象業者は、町「入札参加資格者名簿」登載業者から指名会議

で、予定価格により、原則5社以上(1億円以上は可能な限り10社以上)を選定する。

**問** 町内業者優先の配慮はどうか。

**町長** 指名競争入札では町「建設工事指名競争入札参加者の資格及び選定要綱」で、「町に本店を有する者を優先する」としている。入札対象外の案件でも、「要綱」により「町内業者を優先」としている。

**問** 平塩5号線周辺の活用は。

**町長** 平塩5号線付近は活性化候補地としても検討している。地域のコンセンサスを得て、具体的検討を行う。

**問** 「青洲文庫」と「渡辺青洲」氏のPR活動を。

**町長** 管内小中学校では、「渡辺青洲」氏について郷土学習の中で学ぶ機会を設けている。新図書館オープン時には「青洲」に関する展示コーナーを設け、周知する。

**問** 高齢世帯への粗大ごみ回収サービスの拡充を。

**町長** 町から業者の紹介をしている。また、社会福祉協議会が主体となり、住民参加型の支援活動を進める予定。

# 買い物や通院に不便を感じている 住民の救済を

笠井 雄一 議員

—移動販売などにより買い物支援を強化していく—



1.「買い物・交通弱者対策」について

〈質問項目〉

〈質疑概要〉

問 買い物・交通弱者の人数は。

町長 平成31年3月の75歳以上の方のみの世帯628人への調査では、「買い物」へは三珠地区9人、市川地区31人、六郷地区16人、「交通」へは三珠地区2人、市川地区12人、六郷地区7人の支援要望があった。

問 救済事業の現状は。

町長 買い物支援では、地域おこし協力隊や県補助金を活用した移動販売の強化、甲斐岩間朝市の継続、宅配・送迎等を行うサービスタクシーや買い物支援を実施するNPO等への支援と紹介。「こまごごと手つだい隊」も始める。交通支援では、移動支援コミュニティバスの運行、受診援助を行うNPOの紹介、障害者等を対象とした移動支援・外出支援タクシー利用料金助成など実施している。

問 山間地とそれ以外の地域との状況は。

渡邊福祉支援課長 数字はないが、困りごとが多いのは山間地と認識している。

問 公共交通会議の内容は。

一瀬政策秘書課長 町内のタクシー業者と、バス会社、有識者、行政職員で構成している。最近では富士川町コミュニティバスの青洲高までの延伸案などを検討した。

問 住民代表も加えて交通対策協議会として運営しているか。

政策秘書課長 地域要望を現会議に反映させていく。

問 コミュニティバスがJRと並走できない根拠は。

町長 法的根拠は無いが、JR東海からは身延線と平行して走るバスは困ると聞いて

いる。身延線存続への影響を危惧しての判断である。  
政策秘書課長 身延線沿線活性化協議会の一員として、身延線の存続や鯉沢口駅止まりの電車の延伸を求めながら、最寄り駅へのアクセスを提供し身延線の利用を願っている。

問 峡南広域圏の交通会議を設け、町をまたいだ乗り継ぎや乗合タクシー等で交通弱者の救済を。

町長 峡南広域行政組合の中でも話題として解決に向けて努力したい。

## 一般質問

### 移住者交流会を開催し町の魅力の発信を

丹澤 孝 議員

—移住者同士の交流会や情報発信の機会を設けていく—

〈質問項目〉

- 1.「町内移住者交流会」の開催を
2. 学校法人日本体育大学との協定に基づく取り組み状況について

〈質疑概要〉

問 移住者同士の交流と地域住民を含めた交流を深める機会づくりを。

町長 地域おこし協力隊員や農業協力隊員らとこれまで交流会を実施してきた。それらの活動を更に進め、生活の不安解消や独自の情報発信を期待したい。

問 移住対策事業の実施状況と評価は。

一瀬政策秘書課長 本課が窓口となり交流会を開催。民間団体による異業種交流会も3回ほど実施され職員も参加している。

問 若者定住促進住宅整備事業の成果は。

政策秘書課長 今年度町内に建てられた家の半数以上は町外からの転入者によるもの。

問 首都圏での移住セミナー開催の成果は。

政策秘書課長 都内で何度か行ったが相談者はいなかった。

問 地域コミュニティを充実させて新たな定住者の獲得を。

町長 地域コミュニティも含め犯罪のない、交通事故の少ない、災害に強いまちづくりに向け努力する。

問 日体大との「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づく取組みの現状と今後の計画は。

町長 市川中バスケットボール部が8月に1泊2日で大学キャンパスにて校外活動を行った。来年度には新町民体育館での記念事業を検討している。

問 町の交流行事に県立高校の参加は。

政策秘書課長 来年度の記念事業には高校生の参加も調整している。大学は交流対象も多く日程の難しさはあるが、都合があれば合流を企画している。

問 地場産業における連携や県内大学への売込みは。

政策秘書課長 和紙製品は日体大附属高校の食堂壁面に2度提供した。卒業証書は附属高校1校に今年度提供し、来年度以降は日体大にも検討していただいている。県内大学には寄せ書き用紙など各種紹介を続けている。  
今夏は四尾連湖で附属高校の合宿研修も行われ、好評にて来年度以降も継続と聞いている。





# 新施設建設に伴う財政面の不安は

## —合併特例債を使い、一般財源を抑えた—



### 〈質問項目〉

1. 生涯学習センターと体育館の建設工事費の増額の理由の再答弁を
2. 町財政の現状と将来見通しについて
3. 公有財産の購入について

### 〈質疑概要〉

**問** 生涯学習センターと体育館の建設工事費、2億5千万円の増額の理由は。

**丹沢施設建設課長** 東京五輪等の影響による人手不足、資材高騰により入札不調になったことによる。

**問** 当初及び入札不調後の設計額は誰が決めたのか。

**施設建設課長** 一級建築士が積算した設計額である。

**問** 設計ミスだと思わなかったか。

**町長** 積算根拠の説明では、納得できる根拠があったと判断した。

**問** 近隣の市町に比べ、インフラ整備などの事業が少ないが。

**町長** 最近では、矢作上野線、新三珠陸橋と笠鼻川浦線の工事、総額で約20億円投入した。また、県代行で黒沢バイパスも完成した。今後も整備を進めていく。

**問** 新設高校の土地を県に売却でなく、無償譲渡にしたことに財政負担になると思わなかったか。

**町長** 新設高校の必要敷地面積に対しては現在の市川高校の敷地では、1万円不足であり、新設高校を市川三郷町に残す多くの町民の願いと、町民会館、体育館の老朽化を考え譲渡とした。また、新施設建設には合併特例債を充当し、一般財源を極力抑えた。

**問** 生涯学習センター等の維持管理費は。

**町長** 生涯学習施設870万円、図書館875万円、体育館1510万円、共有スペース415万円で3670万円を見込んでいます。

**問** 公有財産の購入はどのような時に決定するのか。

**町長** 購入を予定する土地等が町行政を行う上で、または公共の福祉増進のために使用すること等が必要であると判断した場合に決定する。

## 一般質問

## 一般質問

# 婚活支援の充実と結婚支援対策で人口増を

齋藤 美佐 議員

### —人口増につながる結婚支援事業の充実を図る—

### 〈質問項目〉

1. 婚活支援の充実と結婚支援対策で人口増
  - (1) 婚活支援の充実について
  - (2) 県との連携は
  - (3) 今後の方向性について
- (2) 結婚支援対策で人口増を
  - ① 新婚世帯の支援について
  - ② 町独自の結婚相談事業創設の考えは
  - ③ 若者定住促進住宅補助金事業の成果と課題
- (3) 町オリジナルの婚姻届と記念撮影用のフォトスタンドの設置
2. 乳幼児予防接種の任意接種、ロタウイルスとおたふく風邪に助成を

### 〈質疑概要〉

**問** これまでの婚活支援の取り組みの成果と課題について。

**町長** 今年で4年目で、26回の婚活イベントやセミナーを開催した。90組を超えるカップリングを記録し、正式な報告で1組が成婚に至った。

**問** 今後の方向性と県との連携は。

**町長** 町独自のオリジナルイベントを開催して行く。それと同時に、県とも協力し、各種のイベントを企画計画していく。

**問** 国の結婚新生活支援事業は、結婚に伴う住居費等を補助する制度で、必要経費の4分の3を国が補助し、4分の1を自治体が補助する制度だが、町の対応は。

**町長** 先進事例を研究し検討する。

**問** 結婚までをサポートする結婚相談員の設置は。

**一瀬政策秘書課長** 4年前から「山梨婚活コミュニティ」が持っているネットワークを活用している。

**問** 町独自の結婚相談事業創設の考えは。

**町長** ふるさと納税返礼品として、プランニングを実施しているが、お見合い希望への対応など、計画したい。

**問** 若者定住促進住宅補助金事業の成果と課題。

**町長** 人口増につながる定住世帯を支援する事業は5年経過した。141世帯の510名が対象となった。転入は84世帯282名であり、人口減少対策に一定の成果があったと思う。

**問** 1世帯当たりの平均補助金額は、73万円程度である。

**問** 結婚記念撮影用のフォトスタンドを設置しては。

**町長** 令和元年初日には6組の婚姻届出があり、記念品の贈呈とフォトスポットを用意し、好評であった。今後何が喜ばれるか検討する。

**問** 婚姻届の用紙を町オリジナルにしては。

**武田町民課長** 実施している市町村を参考にしながら検討する。

**問** 県内のある市町村では、ロタウイルス一回7千円を二回分、おたふく風邪は3千円の助成制度があるが、町の対応は。

**町長** 国費助成で、予防接種は国民が公平に受けられる制度が第一である。他市町村の制度導入を注視しながら、検討していく。



# オンデマンドの乗り合いタクシーの導入を

笠井 辰生 議員

-費用対効果面で課題があり、タクシー券の活用等を検討する-

## 〈質問項目〉

1. 交通空白地対策について  
(1) 自家用有償旅客運送の活用を
2. 通学路の安全対策について  
(1) 信号機のない道路横断箇所は  
(2) 狭隘な道路通行箇所は
3. 手話言語条例の制定  
4周年を迎えて  
(1) 町民への浸透度は  
(2) 今後の取り組みは

## 〈質疑概要〉

**問** 交通空白地対策として自家用有償旅客運送の活用は。

**町長** 山保線・三珠線のコミュニティバスがこれに該当する。また、限られた利用者を対象とした福祉バスもこれに該当する。

**問** 周辺市町村のように、オンデマンドの乗り合いタクシー事業を実現出来ないか。

**一瀬政策秘書課長** 近隣の自治体では費用対効果を考えた時には、かなり疑問符が出るような状況で運営している。

**問** タクシー業者がなくなつてしまった六郷地区の今後のサポートは。

**政策秘書課長** タクシー業者の営業エリアの見直しや、融通をきかせていただく活用の仕方を国や県にお願いした。タクシー券の活用方法も検討していく。

**問** 信号機のない通学路の数と設置予定は。

**町長** 11カ所であり、うち設置要望は2カ所。関係各所に粘り強く要望していく。

**問** 歩道のない通学路の把握状況と現状の対応策は。

**町長** 各学校では把握している。通学路安全推進会議の中で安全プログラムを策定し、安全確保に努めている。

**問** 手話言語条例の制定から54年。施策推進度、町民への浸透度の評価は。

**町長** 園児小中高生、役場・消防署の職員や町民など、延べ約258人が福祉講話・手話教室を受講した。手話やろう者の生活への理解が徐々に浸透している。

**問** 今後の取り組みは。

**町長** 手話の普及にとどまらず、ろう者への理解や、環境づくりのためにあらゆる関係

者等と連携しながら更に推進していく。

**問** 役場で、ろう者への窓口対応は。

**渡邊福祉支援課長** 職員98名が手話の勉強を重ね、各窓口で対応している。

**問** 保育園、幼稚園、小学校の今後の取り組みは。

**望月保育課長** 年に4回手話講座を計画している。

**福祉支援課長** 小学校は6校中5校。中学校は4校中2校が手話教育を導入中。高校は、主にボランティア活動の方が中心なので今後は広げていきたい。

**問** ろう者の防災訓練状況は。

**福祉支援課長** 防災課で9月に学習会を開催。

# 一般質問

## 討論

◆平成30年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

(反対)一瀬 正 議員

国保税の財政運営が全県一体化となった。高い国保税の構造問題は解決されず、負担増、徴収強化が迫られる。令和元年以降、国庫補助金の減額も

懸念される中むしろ増額すべきであると考え反対する。

介護保険特別会計決算で、収入未済者の多くは、普通徴収者の方々である。保険料が納入できない方は、ペナルティにより施設への入所は困難であり必要な介護も減らさざるを得ず、高齢者を悩み、苦しめる制度に反対する。

(賛成)川崎 充朗 議員

国民健康保険特別会計では、持続可能な社会保障制度の確立を図るため、昨年度改革がされた。

新制度では、国保運営の財政支援、低所得者に対する軽減措置の拡充等、医療保険制度の安定化、負担の公平化、医療費の適正化がされ、国民皆

保険を将来にわたり堅持する必要な制度である。

介護保険特別会計では、3年に一度の見直しの中、平成30年度から第7期事業計画として、地域包括ケアシステムの推進のため、関係機関との連携や協働を図り、今後も自立支援、要介護状態の重症化防止、地域共生社会の実現に向けた取り組みを期待する。

(賛成)12 反対1

## 請願

●教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願。

- 請願人
- 町PTA協議会
  - 会長 堀島 実
  - 町公立小中学校校長会
  - 会長 望月 一夫
  - 町公立小中学校教頭会
  - 会長 渡邊 司
  - 県教職員組合峡南支部東部班
  - 班長 岡部 美登志
  - 紹介議員 川崎 充朗 笠井 辰生

●身延町三沢市之瀬間バイパス実現に関する請願。

- 請願人
- 三沢市之瀬間バイパスを実現する会
  - 会長 依田 武司
  - 紹介議員 川崎 充朗 笠井 辰生

## 審議結果 第3回定例会(9月2日~13日)

報告 3件	結果
一般会計継続費精算報告	
平成30年度決算に基づく、健全化判断比率及び資金不足比率	
教育委員会の事務の管理・執行状況の点検及び評価	
条例の制定 3件 一部改正 3件	結果
空家等対策の推進に関する条例制定	可決 全会一致
空家等対策協議会設置に関する条例制定	可決 全会一致
森林環境譲与税基金条例制定	可決 全会一致
職員給与条例中改正	可決 全会一致
印鑑条例中改正	可決 全会一致
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例中改正	可決 全会一致
令和元年 補正予算	結果
一般会計補正予算(第3号)(第4号)	可決 全会一致
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
認定 2件	結果
平成30年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定	認定 賛成多数
平成30年度下水道事業会計決算認定	認定 全会一致
その他議案	結果
町道路線の認定	可決 全会一致
名誉町民の称号を贈ることについて	可決 全会一致
教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出	可決 全会一致
請願 2件	結果
教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願	採択 全会一致
三沢市之瀬間バイパス実現に関する請願	採択 全会一致

## 議会傍聴におでかけください

次回定例会は令和元年12月に予定されています。

傍聴の定員 本会議 30人 委員会 8人

◆9月定例会の傍聴実績(のべ人数)  
本会議 36人 委員会 2人

◆会議録検索システム利用件数  
平成31年1月から令和元年9月まで5,824件

※町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆お問い合わせ  
議会事務局  
TEL 055-272-1108



# みんなのページ



平成16年9月、市川三郷町合併の1ヶ月前にスタート!古い物を大切に、新しい物を取り入れるように取り組んでいます。お手伝いと利用者を分けず、自助・共助で楽しく歌を歌ったり、ゲームをします。9月はミニ運動会として輪投げと色分け遊びで盛り上がりました。最後はお楽しみのお茶タイム。地域の情報交換、社会情勢等を共有します。

日時 第4木曜日  
(午前9時半～)

場所 二ノ宮  
自治公民館

参加費 100円  
代表者 遠藤京子



なごみの会

平成19年6月から始まったサロンです。協力員25名が4班に分かれてローテーションでお手伝い。毎回、役員さんが社協と連携をとって、健康教室など楽しくて勉強になる事を企画。今年のは1月には、平塩地区出身者の落語を聞いてご満悦!!また、年に一度のバス旅行が楽しみです。毎回のお茶タイムではワイワイがやがや賑やかですよ!!

日時 第1火曜日  
(午後1時半～)

場所 平塩自治公民館

参加費 100円  
代表者 久保田正子



平塩ニコニコ倶楽部

編集後記

来年4月に開校する新高校の校舎の建設工事が進んでいます。校名も「青洲高校」として正式決定されました。

各高校でのクラブ活動も、体育部・文化部・専門委員会などでそれぞれ充実した活動が行われてきました。その中でも特に、市川高校男子バスケットボール部や音楽部、増穂商業高校女子バレーボール部などは、伝統を受け継ぎ現在も県内でトップクラスの成績を収めています。

新高校となっても、学習面は言うまでもなく、クラブ活動においても現在の活躍が継続され、地域を元気づけ続けてくれることを期待しています。

(丹澤記)

議会広報編集特別委員会

委員長 小川好一

副委員長 丹澤孝

委員 秋山豊彦

委員 笠井辰彦

委員 齋藤美生

委員 川崎充朗